



令和3年12月21日
統合幕僚監部

(お知らせ)

中国海軍艦艇等の動向について

12月19日(日)午前8時頃、海上自衛隊は、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」1隻、レンハイ級ミサイル駆逐艦1隻、ルーヤンⅢ級ミサイル駆逐艦1隻、ジャンカイⅡ級フリゲート2隻及びフユ級高速戦闘支援艦1隻の計6隻が、北大東島(沖縄県)の東約300kmの海域において航行していることを確認した。

また、午前8時頃から午後9時頃にかけて、中国海軍クズネツォフ級空母「遼寧」の艦載戦闘機及び艦載ヘリの発着艦を確認した。

なお、これらの艦艇のうちジャンカイⅡ級フリゲート1隻を除く5隻は、12月14日(火)及び12月15日(水)に東シナ海で確認され、その後、沖縄本島と宮古島との間の海域を南下したものと同一である。

防衛省・自衛隊は、海上自衛隊第1護衛隊所属「いずも」(横須賀)により、所要の情報収集・警戒監視を行った。

また、艦載戦闘機の発着艦に対し、戦闘機を緊急発進させる等を行い対応した。

クズネツォフ級空母「遼寧」(16)



クズネツォフ級空母「遼寧」搭載戦闘機 (J-15)



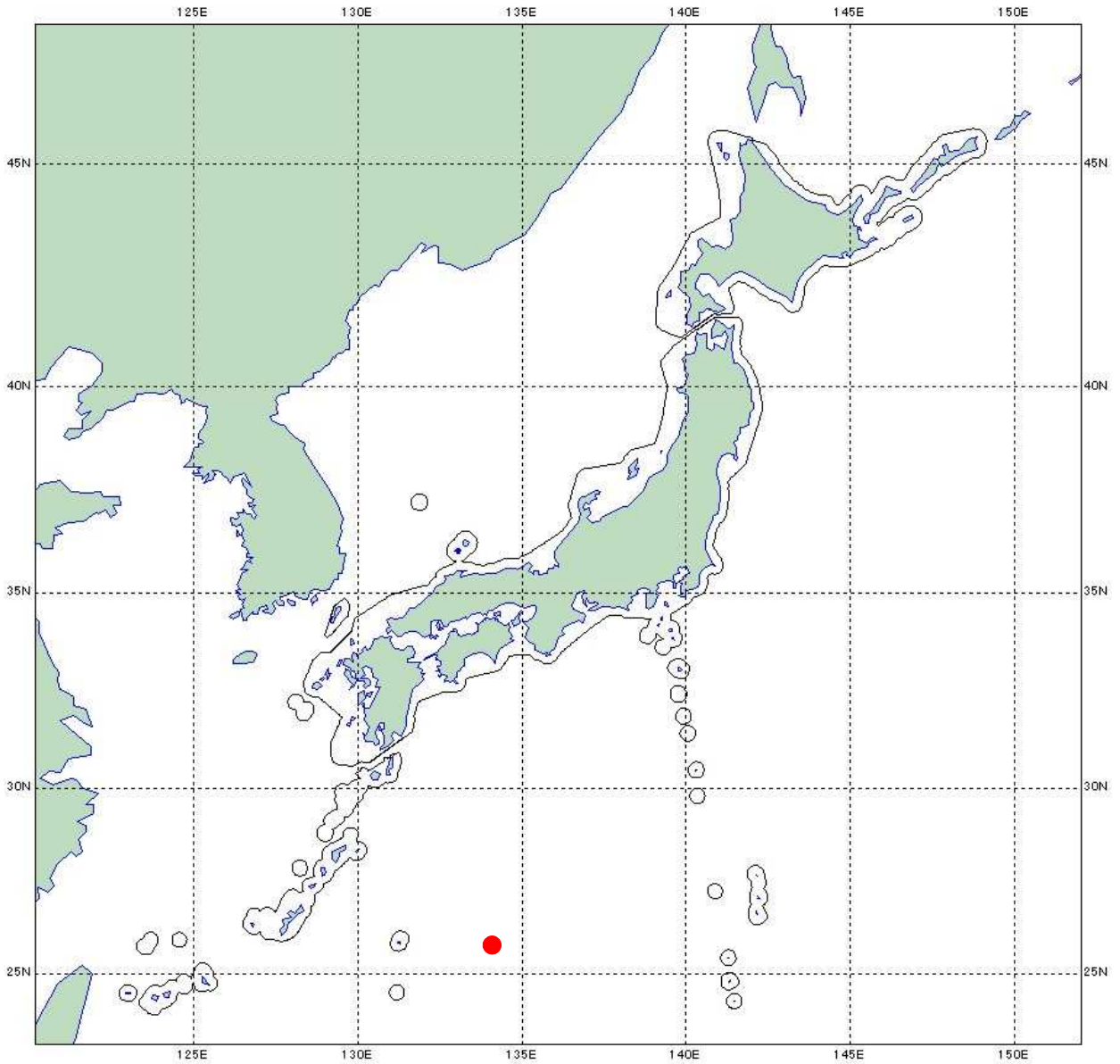
クズネツォフ級空母「遼寧」搭載ヘリコプター (Z-18)



クズネツォフ級空母「遼寧」搭載戦闘機及びヘリコプター
(J-15及びZ-9)



行動概要



● : 中国海軍艦艇